

2008(平成20)年度 第24期事業報告書

自 2008(平成20)年4月
至 2009(平成21)年3月

財団法人 日中医学協会

目 次

事業報告の部

・ 研究助成事業	
A. 日中笹川医学奨学金制度	
1. 第31期研究者の受け入れ	1
a. 第31期研究者受け入れ事業	
b. 第31期研究者の選抜・来日前実施事業	
c. 関係機関との協議及び運営委員会の開催	
2. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に対する協力	3
3. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に対する協力	4
B. 共同研究等助成事業	
1. 2008年度助成金受給者	5
2. 委員会の開催	6
3. 2009年度助成金受給者募集	7
・ 学術会議開催	
A. 主催事業	
1. 日中医学交流会議	7
B. 共催・後援事業	
1. 第7回日中肝胆膵シンポジウム	8
2. 第22回医学生のための漢方医学セミナー	8
3. 日中歯科医学大会2008	8
・ 日中医療保健協力	
1. 中日友好病院に対する専門家派遣事業	8
2. 地方基幹病院に対する協力	8
3. 「中医美容と健康」プロジェクト	8
4. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力	9
5. 医療関連訪日団に対する協力	9
a. 研修	
b. 招聘・病院参観	
・ 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行	10
2. 「NEWS LETTER」の発行	10
3. ホームページの拡充	10
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	11
5. 委員会の開催	11

総務報告の部

・ 役員を選任について	
A. 理事の選任	12
B. 役員を選任について	12
C. 常任理事の選任	12
D. 評議員の選出	12
E. 名誉会員の推戴について	13
・ 会員拡大と募金活動について	
A. 会員数の推移	13
B. 募金活動	
1. 四川大地震の募金	13
2. 年末寄付金・その他の寄付金	14
・ 協会運営に係る事項	
A. 理事会・評議員会の開催	15
B. 常任理事会の開催	15
C. 事業計画・財務委員会の開催	15
D. 各運営委員の委嘱	15
E. 安達理事長の訪中について	16
F. 助成金について	17
G. 日本財団の補助金について	17
H. 特定公益増進法人について	17
資 料	
日中笹川医学奨学金制度第31期研究者名簿	18
監査報告書	20

事業報告の部

・研究助成事業

A. 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部長により「日中笹川医学奨学金制度協定書」が調印された。これは「笹川医学奨学金」の第3次制度ともいうべきもので、5年間に150名の中国医学研究者を招請する。本制度の運営は、中国側は中国衛生部国際交流センターが担当し、日本側は日中医学協会、笹川記念保健協力財団が担当することとなった。

その第一陣として、第31期研究者30名が2008年9月に来日し、1年間日本での研究を行う。

1. 第31期研究者の受け入れ

a. 第31期研究者受け入れ事業

来日

2008年9月16日 30名来日(名簿後掲)

歓迎式典・歓迎レセプション

開催日：2008年9月17日 16:30～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

内 容：式典には、指導責任者、来賓、関係役員等156名が出席した。式典に先立ち、研究者に対するオリエンテーションを実施した。

研究開始

2008年9月18日、研究者は各自研究先へ移動し、19日から研究を開始した。

外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得

第31期研究者で外国医師・外国歯科医師臨床修練資格を取得した者(2009年3月31日現在)。

2009年1月23日許可 3名

高 朋 芬 医師 東北大学医学部附属病院

白 玉 歯科医師 東京歯科大学千葉病院

鞠 海星 医師 愛知県がんセンター中央病院

2009年3月4日許可 1名

左 建林 医師 東北大学医学部附属病院

第21回箱根セミナーの開催

開催日：2009年3月6日～8日

場 所：ホテル箱根アカデミー

内 容：笹川会長の講演の後、「より良い研究生生活を送るために」をテーマに役員と研究者がディスカッションを行った。セミナー終了後は、芦ノ湖を散策し、残り半年に向け英気を養った。

b. 第31期研究者の選抜・来日前実施事業

日中合同面接試験

実施日：2008年4月24日～25日

場 所：中国衛生部国際交流センター会議室

概 要：第31期生候補者40名に対する面接試験を、日中双方3名ずつの面接官により実施した。面接は日本語或いは英語により行った。終了後、面接官による評価が行われ、研究者30名、補欠5名を内定した。

面接官：

日本側面接官：

橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長、
横浜薬科大学教授

高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員、
東邦大学医学部生理学教授

加我君孝 常任理事(奨学金事業担当)、
東京医療センター臨床研究センター長

中国側面接官：

于 修成 中国衛生部科技教育司副司長

烏 正賚 協和医科大学公共衛生学院教授

潘 伯臣 中国医科大学附属盛京医院
婦産科生殖中心副教授

訪日前オリエンテーション

実施日：2008年7月18日 15:00～17:00

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター
(遼寧省瀋陽市)

備考：本制度では、研究者に対し3か月間の来日前語学研修の受講を義務付けている。本オリエンテーションは、来日前後に行うべきこと、注意すべきことを説明するとともに、研究者からの質問に答え、日本での研究ができるだけスムーズに開始できるようにした。

施と評価方法、面接試験における評価項目について審議・決定した。

第2回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2008年5月2日 17:30～20:30

場 所：東京ガーデンパレス「桂」

出席者：委員10名、担当常任理事3名

概要：中国で実施した面接試験の結果及び面接試験前に実施した書類審査の結果に基づき、第31期研究者30名、補欠5名を決定した。また、奨学金支給規程を設けることを決定した。

第3回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2008年9月29日 18:00～20:00

場 所：東京ガーデンパレス「桂」

出席者：委員8名、担当常任理事2名

概要：第32期研究者の募集及び招請について協議した。

その他

・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2008年7月16日 08:30～10:30

場 所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

衛生部科技教育司

于 修成 副司長

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概要：次の三者会議で協議される第32期研究者の募集内容について意見交換を行った。併せて、次期から申請書を日中一本化するための作業を進めることを決定した。

・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2009年3月20日 15:30～17:00

場 所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

c. 関係機関との協議及び運営委員会の開催

三者会議

開催日：2008年10月31日 09:30～11:00

場 所：中国医科大学会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部職員(兼通訳)

日中医学協会

森岡恭彦 副会長

安達 勇 理事長

酒谷 薫 常任理事(奨学金事業担当)

橋本敬太郎 常任理事

(日中笹川医学奨学金運営委員会委員長)

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室長

八百板喜美 総務課職員

日本財団

本多正毅 公益・ボランティア支援グループ福祉チーム

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ福祉チーム

概要：第32期研究者の募集及び招請に関する日程、具体的内容について協議・決定した。

第1回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2008年4月18日 13:00～14:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：委員15名、担当常任理事3名

概要：日本側派遣面接官、面接前書類審査の実

衛生部国際交流センター：

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会：

池谷田鶴子 理事

比留間聡 事務局長

概要：本奨学金制度研究者の帰国方法、第32期研究者の日程について協議・決定した。

2. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に 対する協力

学術交流会の開催

開催日：2008年11月1日 08:30～18:00

場 所：中国医科大学附属第一医院講堂
(遼寧省瀋陽市)

テーマ：1)内科的治療(がん治療を中心に)、
2)災害看護

概要：会議には207名が出席し、日本からも特別講演者を含む36名が出席した。今回から初めて同学会会員以外の参加を認め、中国医科大学に在籍する職員・学生73名も出席した。9名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

特別講演：

殷 大奎 衛生部前副部長

『“ 埼刺繁獵娼舞 陥序匱纂才亞 ” - Carry forward the spirit of the humanities, Doctors and patients to promote harmony - 』

安達 勇 日中医学協会理事長・

静岡県立静岡がんセンター緩和医療科部長

『日本における癌治療から緩和医療への変遷』

康 健 中国医科大学附属第一医院呼吸科教授

『中国における肺閉阻性疾患の現状及び問題点』

黒田裕子 NPO法人阪神高齢者・障害者支援センター理事長

『中・長期にわたる被災者支援 体験を通し

て 』

発表者：

殷 東風 遼寧中医薬大学附属医院腫瘍科教授(6期生)

『長期生存の腫瘍患者に対する緩和治療における中医薬の応用研究』

胡 秀英 四川大学華西医院護理部副教授(18期生)

『The revelation of Collaboration for Wenchuan earthquake disaster emergency rescue team of international 』

欧 周羅 復旦大学附属腫瘍医院

乳腺癌研究所副教授(11期生)

『A typical chemokine binder D6 plays a negative role in human breast cancer 』

張 偉華 甘肅省腫瘍医院消化科教授(10期生)

『Association of p73 gene G4C14-A4T14 polymorphism with increased gastric cancer risk in northwestern Chinese population 』

羊 裔明 四川大学華西医院内科血液科教授(11期生)

『In vitro study on the differentiation mechanism of acute promyelocytic leukemia cells induced by tanshinone A. 』

陳 秀琴 中日友好医院国際医療部主管護師(29期生)

『日本のグループホームの紹介と中国で設立への示唆』

康 熙雄 首都医科大学附属北京天壇医院

実験診断センター教授(20期生)

『Classification of molecular subtype of acute ischemic stroke 』

李 廷謙 四川大学華西医院教授(1期生)

『Survey and practice of reporting quality of randomized controlled clinical trials in traditional Chinese medicine 』

万 毅剛 南京大学医学院附属鼓楼医院

中医科副教授(26期生)

『Combined administration of Saireito and multi-glycoside of Tripterygium wilfordii Hook. f. , on early chronic kidney disease: a prospective, randomized, and controlled trial 』

同学会役員との懇談

開催日：2008年11月1日 20:30～22:00
場 所：ホリディ・イン瀋陽(遼寧省瀋陽市)
出席者

同学会

趙 群 理事長
李 忠金 秘書長
李 成葉 理事
戴 豪良 理事
王 甲東 理事
趙 樹華 理事
許 順 理事
馬 迎華 理事
劉 愛民 理事
康 熙雄 理事
陳 怡 弁公室主任

日中医学協会

森岡恭彦 副会長
安達 勇 理事長
酒谷 薫 常任理事
橋本敬太郎 常任理事
比留間聡 事務局長
末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当
太田晶子 助成金担当

日本財団

本多正毅 公益・ボランティア支援グループ 福祉チームリーダー
依田弘美 公益・ボランティア支援グループ 福祉チーム

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長
槇 洽子 日中医学奨学制度室長
八百板喜美 総務課職員

議 題：同学会の今後の活動について

その他

・ 監査の実施

実施日：2008年7月14日～15日

場 所：同学会事務所(北京市)

概 要：同学会が2007年度に実施した事業に対する監査を実施し、併せて経理処理の具体的事項について指導を行った。

・ 同学会との事務レベル協議

実施日：2008年8月1日 14:30～15:00
場 所：日本財団会議室
出席者：

同学会

趙 群 理事長
李 忠金 秘書長

日中医学協会

比留間聡 事務局長
末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当

日本財団

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ 福祉チーム
伊藤広毅 公益・ボランティア支援グループ 福祉チーム

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長
槇 洽子 日中医学奨学制度室長
八百板喜美 総務課職員

議 題：2008年度同学会活動の進捗状況と、2009年度事業計画について

3. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に

対する協力

第1回在日笹川研究者セミナー

開催日：2008年12月13日 14:00～17:30

場 所：日本財団 2階大会議室A

概 要：日本で活躍する同会会員4名が日頃の研究成果を発表した。セミナーには同会会員、来賓、第31期研究者ら43名が出席し、討論も活発に行われ、充実したセミナーとなった。

講演者：

陳 福君 (株)三菱化学安全科学研究所
副主任研究員(3期生)

『日中G L P制度の現状と将来』

馬 峰 東京大学医科学研究所
幹細胞治療研究センター特任研究員(8期生)

『Regenerative Medicine Based on Human Embryonic and Induced Pluripotent Stem Cells』

李 天成 国立感染症研究所

ウイルス第二部主任研究官(11期生)

『E型肝炎ウイルス・私・笹川研究生』

姚 建 山梨大学大学院医学工学総合研究部
分子情報伝達学准教授(9期生)

『腎微小循環機能制御の分子機構：ギャップ
結合の生理・病理学的役割』

趙群同学会理事長と在日笹川生連絡会の懇談会

開催日：2008年8月2日 15:30～17:30

場 所：日本財団会議室

概 要：在日笹川生、関係機関職員ら20名が出席
し、中国国内同学会と在日笹川生連絡会
の業務連携について意見交換を行った。

第31期研究者との座談会

開催日：2009年3月7日 19:30～21:00

場 所：ホテル箱根アカデミー

概 要：第21回箱根セミナー開催期間中に、第31
期研究者との懇談会を開催、同研究者が
抱えている問題についての的確なアドバイ
スを行った。

その他

・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ

開催日：2008年5月31日 16:00～18:00

場 所：日中医学協会事務所

議 題：2008年度活動計画と四川大地震義援金募
集について

・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ

開催日：2009年1月17日 14:00～17:30

場 所：日中医学協会事務所

議 題：2008年度総会で審議する内容について

B. 共同研究等助成事業

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受け
て実施。2008年度は81件の応募申請の中から、共同
研究等助成事業委員会の選考により4区分24件に助

成した。

1. 2008年度助成金受給者

調査共同研究助成

中国青海省におけるエコノコックス症：プロテイン
チップを用いた早期診断バイオマーカーの検索

申 請 者：山崎 浩 国立感染症研究所

共同研究者：王 虎 青海省地方病予防抑制所

中国医療における水の安全：環境因子のヒトへの
有害性を高感度で検出する方法を用いる安全性評
価

申 請 者：喜多和子 千葉大学大学院医学系研究科

共同研究者：董 董 河北医科大学基礎医学院

中国における自動車排出ガスの健康影響：北京オ
リンピック開催時の大気汚染状況の変化との関連

申 請 者：島 正之 兵庫医科大学

共同研究者：鄧 芙蓉 北京大学公共衛生学院

SARS(新型肺炎)の血清学的診断法確立並びに血清
免疫学的研究

申 請 者：余 福勲 長崎大学熱帯医学研究所

共同研究者：張 奉学 広州中医薬大学熱帯医学研究所

工業ナノマテリアルの健康影響に関する調査研究

申 請 者：市原 学 名古屋大学大学院医学系研究科

共同研究者：李 衛華 上海市計画生育科学研究所

B型肝炎ウイルス(HBV)組換え遺伝子型の臨床的
およびウイルス学的特徴の解析

申 請 者：菅内文中 名古屋市立大学大学院医学研究科

共同研究者：夏 寧邵 廈門大学

日中間におけるB型肝炎ウイルス(HBV)による急
性肝炎・劇症肝炎の病態の差異

申 請 者：鈴木一幸 岩手医科大学医学部

共同研究者：林 世徳 遵義医学院附属病院

尿路結石に特徴的な一塩基多型による人種差の検
討

申 請 者：安井孝周 名古屋市立大学大学院医学研究科

共同研究者：高 兵 瀋陽医学院

唾液分泌増強作用を有する生薬成分配合義歯安定
剤に関する研究

申 請 者：洪 光 広島大学大学院医歯薬学総合研究科

共同研究者：鄭 剛 北京大学口腔医学院

アテロームplaque形成の初期段階におけるPorphyromonas gingivialis HUの役割についての解析

申請者：三宅洋一郎 徳島大学大学院歯学部口腔内科学部

共同研究者：束 蓉 上海交通大学附属第九人民医院口腔医学院

夏天無アルカイドの品質規格と薬理作用に関する研究

申請者：水上 元 名古屋市立大学大学院薬学研究所

共同研究者：楊 義芳 上海医薬工業研究院

抗インフルエンザウイルス作用をもつ化合物の開発

申請者：関水久 東京大学大学院薬学系研究科

共同研究者：李 荀 山東大学薬学院

中国人研究者・医療技術者招聘助成

Epstein-Barrウイルス感染上咽頭癌発症におけるDNAメチル化と酸化ニトロ化ストレスの役割解明

招聘者：村田真理子 三重大学大学院医学系研究科

被招聘者：張 哲 広西医科大学第一臨床学院

新生血管構築による新たな統合失調症治療法の開拓と微小循環動態

招聘者：森 則夫 浜松医科大学

被招聘者：金 学隆 天津医科大学

ATPのオートクリン/パラクリン放出とその痛みシグナルへの関与

招聘者：桂木 猛 福岡大学医学部

被招聘者：孫 競 同濟大学口腔医学院

日本人研究者派遣助成

血液サンプルを用いた上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異の検出及び臨床研究の意見交換

派遣研究者：田村友秀 国立がんセンター中央病院

中国側責任者：張 力 中山大学附属腫瘍医院

在留中国人研究者研究助成

神経回路再構築におけるCI-ホメオスタシスの役割

受給者：王 天英 浜松医科大学生理学第一講座

指導者：福田敦夫 教授

シリカコーティング量子ドットによる癌のセンチネルリンパ節生検と分子画像診断

受給者：叢 莉蔓 東北大学大学院医学系研究科
腫瘍外科学分野乳腺内分泌外科

指導者：大内憲明 教授

急性腎不全における尿細管細胞の抵抗性獲得機序の検討

受給者：孫 媛 浜松医科大学医学部第一内科

指導者：菱田 明 教授

ヒト細胞においてユビキチン様蛋白質SUMO-3を介するX線応答反応における分子メカニズム

受給者：郭 文智 千葉大学医学部環境影響生化学

指導者：鈴木信夫 教授

新規緑内障原因遺伝子の探索と変異・機能解析
- 家系の収集、リケーヅ解析、変異スクリーニング -

受給者：王 春霞 浜松医科大学眼科

指導者：堀田喜裕 教授

肝臓においてDNAメチル化により遺伝子を網羅的に解析する

受給者：鄧 穎水 東京大学大学院医学系研究科

肝胆膵外科・人工臓器移植外科

指導者：国土典宏 主任教授

人参加水分解産物トリテルペン誘導体の抗HIVproteaseおよび抗HCVprotease作用に関する研究

受給者：危 英 富山大学和漢医薬学総合研究所

薬物代謝工学分野

指導者：服部征雄 教授

太極拳を取り入れた認知症予防プログラムの開発に関する研究 - 日本と中国における高齢者の心身に与える影響の比較 -

受給者：孫 皎 石川県立看護大学

実践看護科学コミュニティアクア

指導者：金川克子 研究科長

2. 委員会の開催

第1回共同研究等助成事業委員会

日時：2008年6月30日 18:00～20:00

場所：学士会館307号室

出席者：委員長含む12名(委任状出席8名)
担当常任理事2名

議題：2007年度事業完了報告

2009年度助成金事業募集について

第2回共同研究等助成事業委員会

日時：2009年2月25日 17:30～19:30

場所：学士会館307号室

出席者：委員長含む9名(委任状出席10名)

担当常任理事1名

議題：2008年度事業中間報告
2009年度助成金受給者の選定について

3. 2009年度助成金受給者募集

募集区分・件数 (「()」内は応募件数)

調査・共同研究助成 10～15件(35件)

中国人研究者・技術者招聘助成 1～5件(6件)

在留中国人研究者助成 5～10件(18件)

トラベルグラント 1～5件(4件)

募集期間

2008年11月1日～12月31日

広報媒体

機関誌「日中医学」、「NEWS LETTER」、ホームページ、学会雑誌、専門誌等

．学術会議開催

A．主催事業

1. 日中医学交流会議

テーマ：「インフルエンザ - 日中における新型インフルエンザ流行対策の現状と展望 - 」

日時：2008年10月22日 13:00～18:15

会場：日本医師会館 小講堂

主催：日中医学協会、日本医師会

後援：厚生労働省、中華人民共和国駐日本国大使館、中華人民共和国衛生部、中華医学会、中日医学科技交流協会、国立感染症研究所、日本感染症学会、日本ウイルス学会

参加者：シンポジウム150名、懇親会70名

プログラム

挨拶 森 亘 日中医学協会会長

唐澤 人 日本医師会会長

阮 湘平 中華人民共和国駐日本国大使館参事官

梅田珠実 厚生労働省健康局結核感染症課課長

講演 座長 飯沼雅朗 日本医師会常任理事

「中国における鳥インフルエンザのサーベイランス」

舒 躍龍 中国疾病預防控制中心
病毒病預防控制所国家流感中心主任

「日本におけるインフルエンザのサーベイランスおよび鳥インフルエンザの状況」

岡部信彦 国立感染症研究所感染情報センター長

「中国におけるインフルエンザA (H5N1) 感染の臨床と治療の現状」

高 占成 北京大学人民医院呼吸内科主任医師

「新型インフルエンザに対するワクチン開発と事前備蓄」

田代真人 国立感染症研究所ウイルス第三部部长

パネルディスカッション

懇親会(会場：小講堂)

B．共催・後援事業

1. 第7回日中肝胆膵シンポジウム

開催日：2008年4月19日～20日

開催地：北京市(中国)

主催：日中医学協会、日本臨床外科学会、中国
人民解放軍総医院軍医進修学院、北京軍
区総医院、第三軍医大学西南医院、中華
医学会外科学分会胆道外科学組

参加者：300名(日本側・中国側)

2. 第22回医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2008年8月5日～10日

開催地：三重郡菰野町

主催：日本TCM研究所、クラシエ薬品株式会社
後援：日中医学協会、天津中医薬大学

参加者：医学部学生30名

3. 日中歯科医学大会2008

開催日：2008年9月28日～29日

開催地：陝西省西安市(中国)

主催：日本歯科医師会、日本歯科医学会、中華
口腔医学会、中国医師協会口腔医師分会

後援：日中医学協会

参加者：日本側250名、中国側260名

・日中医療保健協力

1. 中日友好病院に対する専門家派遣事業

中日友好病院との協議に基づき、診療水準の向上、若手専門家の養成に協力する事業として、1993年度以来実施している。

2008年度は3名の専門家を派遣した。

星地亜都司 自治医科大学整形外科学准教授

テーマ：脊椎外科の研究における進展

期間：2008年10月26日～10月29日

鈴木孝彦 医療法人澄心会豊橋ハートセンター長

テーマ：冠状動脈完全閉塞変化の経験

期間：2008年10月27日～10月29日

北野正剛 大分大学医学部腫瘍病態制御(外科学1)

テーマ：消化器疾患に対する内視鏡外科について

期間：2008年12月2日～12月5日

2. 地方基幹病院に対する協力

中国の地域医療を担う基幹病院へ、同病院が必要とする専門家を派遣し、レベルの向上、医学交流の促進を目的とした事業で、2008年度より開始した。本年度は四川大学に1名の専門家を派遣した。

・赤居正美 国立身体障害者リハビリテーションセンター病院長

派遣先：四川大学華西医院(四川省成都市)

期間：2009年3月20日～3月25日

3. 「中医美容と健康」プロジェクト

資生堂(中国)研究開発中心有限公司が、中国国内で実施する美容及び健康領域の研究に対する共同(委託)研究プロジェクトに関する業務について協力した。

本プロジェクトは、2008年度をもって終了した。

・第6回評価委員会

日時：2009年3月31日 18:00～19:30

場所：学士会館301号室

出席者：

運営委員2名

齋藤 洋 委員長

酒谷 薫 委員

オブザーバー(資生堂 4名・日中医学協会 5名)

岩井恒彦 (株)資生堂 執行役員

隅田如光 (株)資生堂技術企画部海外技術企画室

中山泰一 (株)資生堂学術室長

中澤陽介 資生堂(中国)研究開発中心有限公司
基礎研究部 経理

陳 暖 資生堂(中国)研究開発中心有限公司
基礎研究部 科長

森岡恭彦 日中医学協会 副会長

安達 勇 日中医学協会 理事長

比留間聡 日中医学協会 事務局長

岡田光子 日中医学協会 職員

太田晶子 日中医学協会 職員

募 丹 広州中医薬大学

議 題：

1. 2008年度助成プロジェクト研究報告

傅 傑英 広州中医薬大学針灸推拿学院
(代理 募 丹)

「愈血・募血への穴位埋線治療による
脾虚型中心性肥満治療の臨床実験」

袁 小英 中国人民解放軍空軍総病院
(代理 中澤)

「葡萄種エキス - プロアントシアニンが紫
外線照射後の繊維芽細胞における MMP
- 1 発現に与える影響とその作用メカニ
ズム研究」

2. プロジェクト終了に伴う全体評価

4. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力

日本及び中国での大腸癌に関する治療、特に各
種病態に応じた薬物療法を中心とする臨床研究に
対し、2001年度より協力してきた。2008年度をも
って本事業は終了した。

5. 医療関連訪日団に対する協力

a. 研修

「ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及び
コントロールプロジェクト」カウンターパート研
修員への研修

日 時：2008年12月15日

場 所：如水会館

出席者：

中国側：李 慧 甘肅省疾病予防控制中心副所長他 4名

日本側：安達 勇 理事長

篠崎英夫 常任理事

緒方 剛 評議員

議 題：NPOによる日中間の協力について

b. 招聘・病院参観

清華大学玉泉病院訪日団

日 時：2008年 5月 9日 ・10日

団構成：左 煥琮 玉泉病院長他1名

中国医師訪日団

日 時：2008年 9月 5日

団構成：謝 茂華 重慶市渝中区疾病予防控制中心科長他15名

目 的：日本におけるワクチンの接種と普及の状
況の視察

訪問先：茨城県筑西保健所、
茨城県筑西市関城保健センター

中国医療訪日団

日 時：2008年 9月 8日 ・9日

団構成：周 暁 上海市肺科医院院長補佐他8名

目 的：日本の医療事情および病院管理、とくに
がん治療専門病院医の状況ならびに総合
病院呼吸器科の診療の現状についての視
察と交流

訪問先：国立がんセンター中央病院、
杏林大学医学部附属病院

江蘇省無錫市錫北人民医院訪日団

日 時：2008年12月22日 ~24日

団構成：繆 亜萍 錫北人民医院院長他 1名

目 的：日本のリハビリテーション病院ならびに
老人施設を視察し、優れた臨床経験を学
ぶ

訪問先：博慈会記念総合病院、
国立障害者リハビリテーションセンター病院

. 広報事業

上海市眼科代表团

日 時：2008年12月22日 ~ 24日

団構成：王文清 上海第六人民医院眼科副主任他9名

目 的：日本の眼科施設における白内障および緑内障の最新の治療と失明予防対策の現状を視察し、優れた臨床経験を学ぶ

訪問先：順天堂大学医学部附属病院、
大阪府済生会中津医療福祉センター

薬理学訪日団

日 時：2009年3月15日 ~ 20日

団構成：石 遠凱 中国医学科学院腫瘤医院主任他82名

目 的：第82回薬理学会に参加し、日本の薬理関係者と交流を図る

中国薬学代表团

日 時：2009年3月25日 ~ 27日

団構成：付 秀娟 吉林大学第二医院薬剤科主任他18名

目 的：日本薬学会第129年会に参加し人的交流・情報交換を行う

訪問先：東京大学医学部附属病院薬剤科、
日本薬学会第129年会

1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第23巻1～6号を以下の通り発行した。

第1号(2008年5月)

特集「中国におけるスポーツ医学の現状」

第2号(2008年7月)

特集「中国における外国人のための医療体制」

第3号(2008年9月)

特集「中国製品の安全性の現状」

第4号(2008年11月)

特集「中国の生活習慣病と集団検診」

第5号(2009年1月)

特集「中国における一般用医薬品の使用と開発の現状」

第6号(2009年3月)

特集「中医と西医の協力関係」

2. 「NEWS LETTER」の発行

2003年から協会の活動を幅広く、わかりやすく紹介するため機関紙「NEWS LETTER」を発行している。今年度は、15～17および号外を発行した。

15(2008年4月発行)

記事「日中笹川医学研究者制度 最後の第30期研究者78名を送って」他

号外(2008年5月発行)

記事「緊急特集 四川大地震への当協会の取り組み」

16(2008年9月発行)

記事「日中医学協会理事長就任にあたって」他

17(2008年12月発行)

記事「2008年日中医学交流会議 - インフルエンザ - を終えて」他

3. ホームページの拡充

中国語ホームページ開設：

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」
Volume8 Issue2 ~ Volume9 Issue1 の発行について支
援団体(Sponsoring Organization)として協力した。

5. 委員会の開催

a. 第1回広報委員会

日 時：2008年6月24日 18:30～20:30

場 所：学士会館310号室

出席者：委員長他委員10名

議 題：

- ・副委員長の委嘱
- ・「日中医学」22巻6号、23巻1号、「NEWS LETTER」15の発行報告
- ・「日中医学」第23巻2～6号の掲載記事について
- ・投稿原稿の審査他

b. 第2回広報委員会

日 時：2008年10月28日 18:30～20:30

場 所：学士会館310号室

出席者：委員長他委員7名、担当常任理事1名

議 題：

- ・「日中医学」第23巻2号、3号、「NEWS LETTER」号外、16の発行報告
- ・「日中医学」第24巻の発行の特集テーマ、連載について

c. 第3回広報委員会

日 時：2009年2月3日 18:30～20:30

場 所：学士会館310号室

出席者：委員長他委員10名

議 題：

- ・「日中医学」第23巻4号、5号、「NEWS LETTER」17の発行報告

総務報告の部

・ 役員の選任について

A . 理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

1. 2008年5月26日第47回評議員会に於いて理事を選任。

・ 就任 9名

大柳治正 近畿大学医学部長
篠崎英夫 国立保健医療科学院院長
庄山悦彦 社団法人電子情報技術産業協会会長
竹中登一 日本製薬団体連合会会長
中山 眞 社団法人日本電機工業会会長
日比紀文 慶應義塾大学医学部内科学主任教授
平岡眞寛 京都大学医学部放射線科教授
松尾憲治 社団法人生命保険協会会長
宗岡正二 社団法人日本鉄鋼連盟会長

・ 辞任 6名

出月康夫 東京大学名誉教授
岡本囃衛 社団法人生命保険協会会長
庄山悦彦 社団法人日本電機工業会会長
馬田 一 社団法人日本鉄鋼連盟会長
町田勝彦 社団法人電子情報技術産業協会会長
森田 清 日本製薬団体連合会会長

B . 役員の選任について

2008年5月26日第47回理事会に於いて、寄附行為第17条及び第19条に基づき、会長・副会長を選任。

任期：2008年4月1日～2010年3月31日

就任：会長 森 亘 理事
副会長 荻原幸夫 理事
唐澤・人 理事
森岡恭彦 理事(2008年8月1日～)

C . 常任理事の選任

2008年5月26日第47回理事会に於いて、寄附行為

第17条及び第19条に基づき、常任理事を選任。

任期：2008年4月1日～2010年3月31日

就任：岩砂和雄 理事
江藤一洋 理事
小川秀興 理事
大柳治正 理事
加我君孝 理事
酒谷 薫 理事
篠崎英夫 理事
橋本敬太郎 理事
日比紀文 理事
平岡眞寛 理事
辞任：出月康夫 理事
小林秀資 理事
齋藤洋一 理事

D . 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出。

1. 2008年5月26日第47回理事会に於いて評議員を選出。

・ 就任 16名

荒木孝二 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
猪熊茂子 元東京都立駒込病院アレルギー・膠原病科部長
大田洋二郎 静岡県立静岡がんセンター口腔外科部長
緒方 剛 茨城県筑西保健所所長
韓 晶岩 遼寧中医薬大学日本中医薬学院院長
栗原英美 広島大学大学院医歯薬総合研究科教授
古谷野潔 九州大学大学院歯学研究院教授
済木育夫 富山大学和漢医薬学総合研究所所長
佐藤田鶴子 日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座教授
澤 宏紀 鈴鹿医療科学大学前学長
住友雅人 日本歯科大学生命歯学部部長
諏訪文彦 大阪歯科大学教授
田上順次 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
林 謙治 国立保健医療科学院次長
方 一如 大阪歯科大学歯科東洋医学室准教授
前田健康 新潟大学歯学部部長
・ 死亡による退任 1名
水島 裕 聖マリアンナ医科大学名誉教授

・ 会員拡大と募金活動について

2. 2009年3月13日第48回理事会に於いて評議員を選出。

・ 就任 1名

前田隆秀 日本大学松戸歯学部教授

E . 名誉会員の推戴について

2008年5月26日第46回理事会に於いて、名誉会員を推戴した。

出月康夫 東京大学名誉教授

・ 名誉会員名簿

出月康夫、岡本道雄、齋藤 毅、柴田承二、
清水喜八郎、杉村 隆、中島 章、長谷川恒雄、
三神美和、山本敏行

(2009年3月31日現在)

A . 会員数の推移

	08年3月 末現在	2008年度 入退会	09年3月 末現在
個人 会員	486名	入会35名 退会33名	488名
法人 会員	52社	入会9社 退会2社	59社
特別 会員	3社	入会0社 退会0社	3社

B . 募金活動

1. 四川大地震の募金

2008年5月12日に四川省で発生した大地震で被災した方々に対する義援金を募集したところ、個人185名、法人29団体から合計6,905,079円にのぼる義援金を頂戴した。義援金寄付者は以下の通り。

7月14日、衛生部を通じて700万円を被災者に届けた。

a. 個人 185名

石館光三、劔物 修、五島瑳智子、渡邊裕司、
稲葉 裕、小野瀬英雄、京極 宏、武内裕之、
田平 武、延吉正清、安達 勇、池田憲昭、
泉 孝英、今泉英明、荻原幸夫、帯津良一、
渋谷統寿、高橋美智、鄭 忠和、西谷 巖、
橋本敬太郎、松葉 剛、村上 晶、村上政隆、
薬師寺仁、山中宣昭、吉田貴彦、李 思元、
池田 裕、池谷田鶴子、井上文英、木曾良明、
木原正博・雅子、久保心子、小原道法、菅野晴夫、
田代英雄、立松正衛、辻 明良、杜 子威、
中島 悟、野末道彦、蓮井和久、比留間聡、
廣木忠行、小川秀道、青笹克之、足立 満、
阿部淑子、五十嵐薫、五十嵐正広、石井裕正、
石見佳子、伊東 繁、猪又八郎、今井一洋、
今井絹子、岩砂和雄、岩本愛吉、上野恵子、
牛尾恭輔、内倉和雄、遠藤政夫、王 瑞雲、
太田晶子、大村恒雄、岡田健次、岡田幸二郎、

岡田光子、岡田裕作、小川 郁、小川秀興、
奥山 徹、小田島肅夫、小山 修、上西紀夫、
加賀美芳和、影山幸雄、桂木 猛、加藤四郎、
金井 浄、亀谷麒与隆、鴨下重彦、河野信博、
韓 晶岩、神崎 晋、北村唯一、木村 理、
木村光孝、神津忠彦、河野 茂、小島莊明、
小西敏郎、小原恭子、小林寛伊、齋藤昌三、
齋藤大三、齋藤 毅、齋藤 洋、櫻井 勇、
桜井芳明、佐藤信紘、佐藤博昭、佐藤文三、
清水 浩、清水不二雄、末原珠生、菅村和夫、
杉本恒明、諏訪文彦、高橋邦泰、高本眞一、
高山浩明、竹内康浩、武田隆男、竹田忠紘、
田島和雄、伊達孝保、田中昭男、千葉 文、
張 丹青、張 平平、陳 福君、土山秀夫、
寺島芳輝、藤 哲、永井良三、中島 章、
中村正孝、成瀬 達、西部三省、野・幹弘、
野田 亨、野原 裕、橋本信夫、服部文幸、
花岡一雄、羽倉稜子、濱口勝彦、浜田茂幸、
早田 勇、廣瀬伸一、廣橋説雄、日和田邦男、
福生吉裕、福田 護、藤野 紘、堀 貞夫、
幕内雅敏、丸野政雄、丸山孝士、溝上雅史、
満留昭久、宮原英夫、宮村達男、宮本謙一、
武藤徹一郎、百瀬 皓、森 亘、森岡恭彦、
森口隆彦、森山紀之、門田守人、山口修平、
山西弘一、山本敏行、山本昌弘、横山耕治、
吉倉 廣、六本治子、若山吉弘、八百板喜美、
今田聰雄、木村秀樹、竹田亮祐、広沢美和子、
細井紀雄、三澤美和、山口 巖、功 ジャミン、
糸川秀治、繁田雅弘、田 素斎、藤盛啓成、
前原喜彦

b. 法人 20団体

日本医師会、日本歯科医師会、
日本歯科医学会、日本薬剤師会、
前橋広瀬川クリニック、金原出版(株)、
早期胃癌検診協会、金沢医科大学、
関西医科大学、秋田大学医学部耳鼻咽喉科学教室
札幌医科大学麻酔学講座、医療法人青洲会村瀬医院、
医療法人社団高野会高野病院会長・理事長・患者・職員一同
笹舟、慶応義塾大学医学部整形外科学教室、

第7回日中ウイリス学会、石川県立看護大学自治会
黎明郷、医療法人イカ春日会革嶋クリニック、
(株)マイコム

2. 年末寄付金・その他の寄付金

2008年度の年末寄付金及びその他頂戴した寄付金
は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協
会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事
業等に充当した。

a. 団体・法人 24法人

味の素(株)、アステラス製薬(株)、アボットジャパン(株)、
大塚製薬(株)、化学及血清療法研究所、
北里研究所生物製剤研究所、クラシエ薬品(株)、
資生堂(中国)研究開発中心有限公司、(株)島津製作所、
タイコヘルスケアジャパン(株)、第一三共(株)、
大鵬薬品工業(株)、武田薬品工業(株)、大正製薬(株)、
田辺三菱製薬(株)、中外製薬(株)、(株)ツムラ、
テルモ(株)、デンカ生研(株)、日本医師会、
日本歯科医師会、阪大微生物病研究会、
(株)三菱化学安全科学研究所、ヤンセンファーマ(株)

b. 個人 54名

安達 勇、荒木孝二、磯野真知子、池田 裕、
池谷田鶴子、市川和孝、糸川秀治、今井一洋、
今泉英明、岩砂和雄、牛尾恭輔、江藤一洋、
大柳治正、緒方 剛、加我君孝、金原秀雄、
河野信博、韓 晶岩、菊池晴彦、北村唯一、
木村光孝、五島瑳智子、齋藤大三、齋藤洋一、
佐々木一之、下村克朗、正山征洋、杉本恒明、
鈴木磨郎、諏訪文彦、高倉公朋、高橋美智、
田口鐵男、塚原 勇、土山秀夫、杜 子威、
鍋谷欣市、林 謙治、日暮 眞、久道 茂、
平岡眞寛、方 一如、町田幸雄、松村英雄、
水野 昇、箕田健生、武藤徹一郎、森 亘、
森岡恭彦、山中宣昭、山本昌弘、家森幸男、
姚 建、吉倉 廣、

．協会運営に係る事項

評議員選出の件
運営委員委嘱の件

A．理事会・評議員会の開催

1. 第47回評議員会

日 時：2008年5月26日 17:00～18:30
場 所：学士会館302号室
出席者：86名(委任出席71名)
議 題：理事選任の件

2. 第47回理事会

日 時：2008年5月26日 17:00～18:30
場 所：学士会館302号室
出席者：32名(委任出席23名)
議 題：2007年度事業報告(案)の件
2007年度決算報告(案)の件
評議員選出の件
役員人事の件
日本財団助成金申請の件
特定公益増進法人申請の件

3. 臨時評議員会

日 時：2008年8月20日 16:00～17:00
場 所：日中医学協会事務所
出席者：99名(承諾書提出99名)
議 題：理事選任の件

4. 第48回評議員会

日 時：2009年3月13日 16:00～17:20
場 所：学士会館203号室
出席者：97名(委任出席84名)
議 題：寄附行為変更の件

5. 第48回理事会

日 時：2009年3月13日 16:00～17:20
場 所：学士会館203号室
出席者：36名(委任出席23名)
議 題：寄附行為変更の件
2009年度事業計画の件
2009年度収支予算の件

B．常任理事会の開催

1. 第209回常任理事会

日 時：2008年5月9日 17:00～19:00
場 所：学士会館309号室
出席者：理事長他4名
議 題：理事会・評議員会議題案について他

2. 第210回常任理事会

日 時：2008年7月31日 17:00～19:00
場 所：学士会館303号室
出席者：理事長他9名
議 題：公益法人改革検討委員会の設置他

3. 第211回常任理事会

日 時：2008年9月9日 15:00～19:00
場 所：学士会館310号室
出席者：理事長他7名
議 題：次年度日中医学交流会議について他

4. 第212回常任理事会

日 時：2008年12月9日 17:00～19:00
場 所：学士会館310号室
出席者：理事長他10名
議 題：2009年度事業計画、予算について他

5. 第213回常任理事会

日 時：2009年2月27日 17:00～19:00
場 所：学士会館303号室
出席者：理事長他12名
議 題：2009年度事業計画、予算について他

C．事業計画・財務委員会の開催

1. 第1回事業計画・財務委員会

日 時：2008年7月28日 18:00～20:00
場 所：学士会館303号室

出席者：酒谷委員長他 7 名

議 題：2009年度事業・予算への提言他

2. 第 2 回事業計画・財務委員会

日 時：2008年11月27日 18:00～20:00

場 所：学士会館309号室

出席者：酒谷委員長他 6 名

議 題：2009年度及び中・長期事業計画について
他

D . 各運営委員の委嘱

寄附行為第33条及び運営委員会規程第 3 条、第 4 条に基づき各運営委員を委嘱。

2008年 5 月26日第47回理事会は、任期満了に伴い事業計画財務委員会及び共同研究助成事業委員会の各委員を委嘱した。

1. 事業計画財務委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

酒谷 薫 日本大学医学部教授

委 員：

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

金井 浄 公認会計士

韓 晶岩 遼寧中医薬大学附属日本中医薬学院院長

正山征洋 長崎国際大学薬学部教授

田上順次 東京医科歯科大学大学院医歯総合研究科教授

永池京子 日本看護協会常務理事

林 謙治 国立保健医療科学院次長

山中宣昭 東京腎臓研究所所長

顧 問：

出月康夫 東京大学名誉教授

b. 任期：2008年 4 月 1 日～2010年 3 月31日

2. 共同研究等助成事業委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

武藤徹一郎 癌研究会明病院メディカルディレクター・名誉院長

委 員：

岩本愛吉 東京大学医科学研究所先端医療研究センター教授

菅村和夫 東北大学大学院医学系研究科教授

日暮 眞 高崎健康福祉大学大学院特任教授

久道 茂 宮城県対がん協会会長

御子柴克彦 理化学研究所脳科学総合研究センター

吉倉 廣 国立感染症研究所名誉所員

石井裕正 慶應義塾大学名誉教授

井廻道夫 昭和大学医学部教授

永井良三 東京大学医学部教授

前原忠行 順天堂大学医学部教授

跡見 裕 杏林大学医学部長

今泉英明 今泉産婦人科院長

黒川 顕 日本医科大学武蔵小杉病院院長

高本眞一 東京大学医学部教授

伊賀立二 昭和薬科大学学長

荻原幸夫 日本薬科大学学部長

佐藤田鶴子 日本歯科医学会常任理事

荒木孝二 日本歯科医学会常任理事

金井Pak雅子 東京女子医科大学看護学部教授

b. 任期：2008年 4 月 1 日～2010年 3 月31日

3. 広報委員会委員の委嘱

2009年 3 月13日第48回理事会は、広報委員会竹田忠紘委員の辞任に伴い、山田陽城氏を同委員に委嘱した。

辞任：竹田忠紘 慶應義塾大学薬学部教授

就任：山田陽城 北里大学北里生命科学研究所・大学院
感染制御科学学府所長・学府長・教授

任期：2009年 4 月 1 日～2010年 3 月31日

E . 安達理事長の訪中について

安達理事の理事長就任の挨拶、より一層の協力関係を構築することを目的に訪中した。

期 間：2008年 9 月21日 ～ 9 月23日

訪問先：衛生部、日本大使館、中華医学会、
中華予防医学会、中国医師協会、
中日友好病院

F．助成金について

三共生命科学振興財団より、研究会・シンポジウムの開催助成として、日中医学交流会議に対し50万円の助成を受けた。

G．日本財団の補助金について

2009年2月27日付で2009年度助成金申請に対する審査結果が以下の通りあった。

共同研究等助成金に対する助成

助成金額 15,000,000円

日中笹川医学奨学金制度第32期研究者受入に対する助成

助成金額 152,400,000円

基盤整備事業

助成金額 38,500,000円

H．特定公益増進法人について

2009年3月26日、「旧所得税法施行令第217条第1項第3号口及び旧法人税法施行令第77条第1項第3号口に掲げる公益の増進に著しく寄与する法人であることの証明書」(有効期間2年間)が厚生労働大臣より交付された。

日中笹川医学奨学金制度第3 1期研究者名簿(2008年9月～2009年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
李 曙光	北京大学第三医院薬剤科主任薬師	北海道大学大学院薬学研究院臨床薬剤学	井開 健 教授
	薬物療法の至適個別化に関する研究		
樊 菁	中国人民解放軍第四軍医学第一附属医院血管内分泌外科主治医師	旭川医科大学循環・呼吸・腫瘍病態外科学	笹嶋唯博副学長
	Lymphoedemaのための遺伝子療法に関する研究		
張 軍	中国人民解放軍第二軍医学第一附属医院実験診断科主治医師	札幌医科大学医学部病理学第1	佐藤昇志 教授
	ヒト癌抗原ペプチドの生合成の細胞内機構		
左 建林	吉林大学中日聯誼院院骨外科主治医師	東北大学大学院医学系研究科整形外科学	井樋栄二 教授
	肩腱板断裂の経時の拡大機序と危険因子の解明		
高 朋芬	中国人民解放軍南京軍区福州総院眼科主治医師	東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター細胞治療開発分野	阿部俊明 教授
	網膜保護デバイスの開発と網膜機能解析		
楊 淋清	深・市疾病予防控制中心毒理研究室主治医師	国立環境研究所環境リスク研究センター健康リスク評価研究室	曾根秀子主任研究員
	核内受容体作動性化学物質の発がん・加齢などに及ぼす影響の分子メカニズムに関する研究		
王 京浜	広東省疾病予防控制中心毒理実験所主管医師	自治医科大学地域医療学センター環境医学部門	香山不二雄教授
	周産期化学物質曝露による免疫・内分泌系発達障害に関する研究		
白 玉	中国人民解放軍第四軍医学口腔医院児童口腔科主治医師	東京歯科大学小児歯科学	薬師寺仁副学長教授
	歯牙再生のための歯根形成関連タンパク制御		
胡 中傑	首都医科大学附属北京佑安医院消化科主治医師	東京大学大学院医学系研究科消化器内科学 東京大学医科学研究所疾患制御ゲノム医学ユニット	小俣政男 教授 加藤直也特任准教授
	多剤耐性変異導入B型肝炎ウイルスの複製能からみた最適な核酸アナログ併用療法の検討		
王 波	浙江大学医学院附属婦産科医院主治医師	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学	大須賀稯 講師
	Nitric oxide mediates effect of leptin on human		
趙 新	中国人民解放軍第302医院感染十七科主治医師	東京大学大学院医学系研究科肝胆臓器外科・人工臓器移植外科学	國土典宏 教授
	肝細胞癌における臨床診療の研修及び肝内転移抑制新規抗がん剤の評価		
張 艶	北京大学人民医院血液病研究所主治医師	東京大学医科学研究所癌細胞シグナル分野	山本 雅 教授
	細胞周期制御蛋白質欠損マウスに見られる腫瘍の分子病理学的解析		
馬 楚凡	中国人民解放軍第四軍医学口腔医院修復科副主任医師	東京医科歯科大学生体材料工学研究所無機材料分野	山下仁大 教授
	歯科用生体材料の評価		
周 謙君	上海市第一人民医院胸外科副主任医師	順天堂大学大学院医学研究科呼吸器外科学	鈴木健司主任教授
	早期肺癌に対する治療戦略		
張 淑香	寧夏医学院附属医院呼吸内科主治医師	順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学	高橋和久主任教授
	肺がん細胞の増殖における抗コリン剤の役割に関する基礎的研究		
張 妍	哈爾濱医科大学薬学院薬理教研室副教授	慶應義塾大学医学部再生医学	福田恵一 教授
	骨髄由来細胞の心肥大形成における役割		
梁 静	中日友好医院婦産科主治医師	東京医科大学病院産科婦人科学	井坂恵一主任教授
	Gynecologic oncology and endometriosis		
周 敏	南京大学医学院附属鼓楼医院血液科主治医師	東京女子医科大学薬理学	丸 義朗主任教授
	樹状細胞に基づくワクチンの研究		
傅 強	中国人民解放軍総院外科臨床部麻酔手術中心主治医師	東京女子医科大学麻酔科学	尾崎 眞主任教授
	最小侵襲による心血管系機能モニタリング		
畢 振旺	山東省疾病予防控制中心伝染病防制所副主任医師	国立感染症研究所感染症情報センター	岡部信彦センター長
	感染症サーベイランス・感染症対策パンデミック対策		
段 鴻飛	北京市結核病胸部腫瘍研究所結核科医師	財団法人結核予防会結核研究所研究部	土井教生主任研究員
	新規合成ならびに天然由来のマクロライド系化合物ライブラリーを対象とした新しい抗酸菌治療薬候補化合物の探索		
王 寧	遼寧中医学大附属第二医院腫瘍科医師	静岡県立静岡がんセンター緩和医療科	安達 勇 部長
	がん緩和医療における代替療法の有用性に関する研究		
丁 宇翔	中国人民解放軍第四軍医学口腔医院口腔顎顔面外科主治医師	愛知学院大学歯学部顎顔面外科学	下郷和雄主任教授
	口腔外科学(骨の形成に関する研究)		
鞠 海星	浙江省腫瘤医院結直腸外科主治医師	愛知県がんセンター中央病院消化器外科	平井 孝外来部長
	大腸外科治療成績向上に関する研究		
趙 晶	哈爾濱医科大学附属第二臨床医院消化内科主治医師	京都大学大学院医学研究科消化器内科学	武藤 学准教授
	食道における発がんメカニズムの解明		
郭 金才	浙江省人民医院整形外科主治医師	京都大学大学院医学研究科形成外科学	鈴木茂彦 教授
	皮膚再生医療		
韓 麗娜	中国人民解放軍総院南楼臨床部心血管一科副研究員	京都大学再生医学科学研究所生体分子設計学分野 東京都神経科学総合研究所分子神経病理研究部門	開 祐司 教授 松本 陽部門長
	軟骨形成と血管侵入に関する研究		
宋 丹	吉林大学第二医院眼科主治医師	大阪大学大学院医学系研究科眼科学	大島佑介 助教
	網膜血管新生抑制と眼内血管増殖因子(VEGF)ならびに抑制因子の濃度変化の研究		
呂 紅娟	山東省血液中心血型参比研究室主管技師	大阪府赤十字血液センター研究部	谷 慶彦副所長
	中国山東省におけるまれ血バンクの設立にむけて		
孫 威	哈爾濱医科大学附属第二医院神経内科副主任医師	九州大学大学院医学研究院附属脳神経病研究施設神経内科学	吉良潤一 教授
	局所皮質異形成ラットにおけるグルタミン受容体発現		

監査報告書

2008年4月1日より2009年3月31日
までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基
づいて適正に行われたことを確認しました。

2009年 5月22日

監 事 金 井 浄,
公認会計士

監 事 齋 藤 洋,

監 事 杉 本 恒 明,

2008年度事業報告
財団法人日中医学協会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3
住泉KMビル6階
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2009年6月
発行人 安達 勇